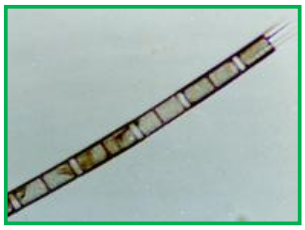
瀬田川プランクトン調査結果速報

～第27報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門　生物圏係
令和8年10月2日

1.最も数が多かった種類（優占種）

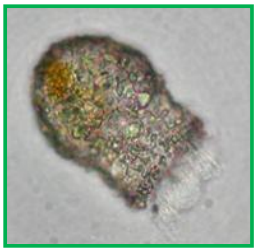
植物プランクトン第１優占種



Aulacoseira granulata
（アウラコセイラ）
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成します。細胞殻の側壁には斜めに走る点紋列があります。また、細胞の両端に長い棘状の突起を有しており、これらが噛み合うことで細胞同士が連結しています。

動物プランクトン第１優占種



Codonella cratera
（スナカラムシ）
繊毛虫類

壺のような黒色の固い殻を持ち、その殻は砂粒を含んでいます。殻前方が開いており、その後ろにくびれがあるのが特徴です。殻の中に無色透明の繊毛虫が入っています。

2.計数された異臭味原因プランクトン



Phormidium tenue
（フォルミディウム テヌエ）
藍藻綱

糸状体はまっすぐまたは僅かに湾曲し、細胞間の連結部でわずかにくびれています。細胞の幅は1～2μmと小さく、薄い鞘につつまれています。かび臭物質2－メチルイソボルネオール（2-MIB）を産生するため、大量に増殖した場合は水自体からカビ臭を感じることがあります。

コメント
植物プランクトンは、細胞数・体積ともに珪藻に属するアウラコセイラ　グラヌラータ(*Aulacoseira granulata*)が優占種となりました。綱別の体積では、降順で珪藻が約38%、藍藻が約33%、次いで褐色鞭毛藻が約21%となりました。動物プランクトンは、繊毛虫類のスナカラムシ(*Codonella cratera*)が優占種となりました。ピコ植物プランクトンは、今週は200,000細胞/mL(輝橙色：96%、深赤色：4%)計数されました。

今週の調査では、動物プランクトンについては優占種のスナカラムシが前回の2倍以上の個体数に増加していました。一方、植物プランクトンについては異臭味原因種が確認されたほか、ピコ植物プランクトンの細胞数が例年の同時期と比較して多いため、今後の動向に注意が必要です。

3.計数された主なプランクトンとその数（個体数）

（1）動物プランクトン

第　１　優　占　種		（個体／L）
繊毛虫類	*Codonella cratera*	1,300

第　２　優　占　種		（個体／L）
肉質虫類	*Difflugia* sp.	280

＊個体数は、プランクトンネットNXXX25（目合い41μm）で1000倍濃縮したものを直接検鏡して計測しました。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

～第27報～

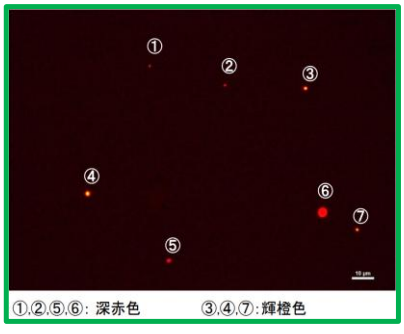
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門　生物圏係

令和8年10月2日

（2）植物プランクトン

（綱）種　　名		細胞数（群体数）	数	体積
（藍）	*Microcystis aeruginosa**	4		
（藍）	*Microcystis wesenbergii**	3		
（藍）	*Aphanocapsa elachista**	80		
（藍）	*Aphanizomenon flos-aquae**	6		
（藍）	*Aphanizomenon* sp.*	1		
（藍）	*Anabaena affinis**	3		
（藍）	*Anabaena circinalis**	3		
（藍）	*Phormidium tenue**★	60		
（藍）	*Phormidium* sp.*	20		
（珪）	*Aulacoseira granulata*	370	◎	◎
（珪）	*Aulacoseira granulata* var. *angustissima*	46		
（珪）	*Aulacoseira ambigua*	200		
（珪）	*Cyclotella* sp.	100		
（珪）	*Skeletonema potamos*	40		
（珪）	*Gyrosigma acuminatum*	1		
（珪）	*Nitzschia* sp.	40		
（褐）	*Cryptomonas* sp.	200		○
（褐）	*Rhodomonas* sp.	240	○	
（緑）	*Chlamydomonas* sp.	80		
（緑）	*Pediastrum biwae*	16		
（緑）	*Actinastrum hantzschii* var. *fluviatile*	6		
（緑）	*Scenedesmus* sp.	40		
（緑）	*Mougeotia* sp.	20		
（緑）	*Staurastrum* sp.	1		
（緑）	*その他の緑藻*	1		
（藍）	藍藻綱	180	11.4	33.0
（黄）	黄緑藻綱	0	0.0	0.0
（黄鞭）	黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
（珪）	珪藻綱	797	50.4	38.3
（渦）	渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
（褐）	褐色鞭毛藻綱	440	27.8	21.1
（み）	みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
（緑）	緑藻綱	164	10.4	7.5
（他）	その他のプランクトン	0	0.0	0.0
	総　細　胞　数	1581	総体積（μm^3）	1.80E+06
	種　類　数	25		

注1）細胞数の単位は（細胞／mL）
　　ただし＊印の種は群体数（群体／mL）
注2）優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
　　数字は各綱ごとの占有率（単位：%）
注3）細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
　　試験的に推定した概算値です。



ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影
(倍率：10×20倍)

（3）見つかったピコ植物プランクトンとその数（細胞数）

ピコ植物プランクトン数		細胞数／mL
（藍）	*Synechococcus* sp.	200,000

注1）プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2～2μm（1μmは1mmの1,000分の1）の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起（緑色光照射）で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。